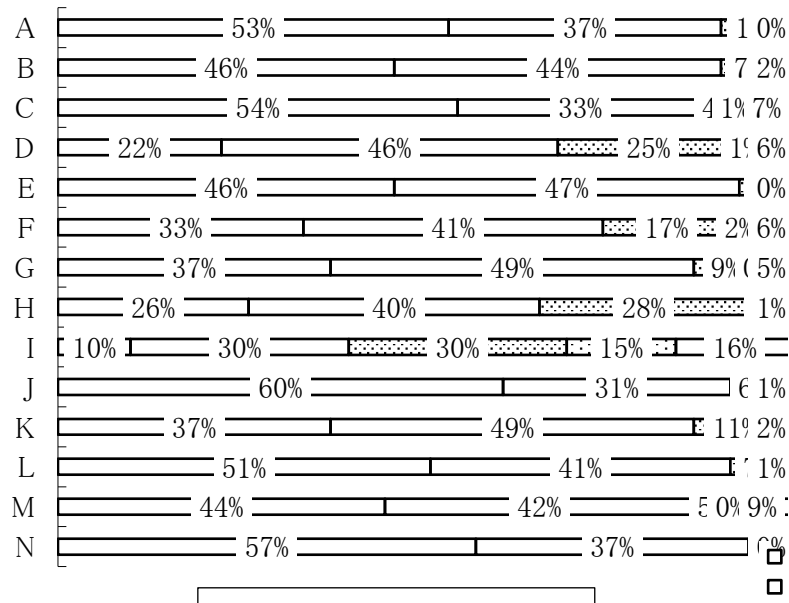
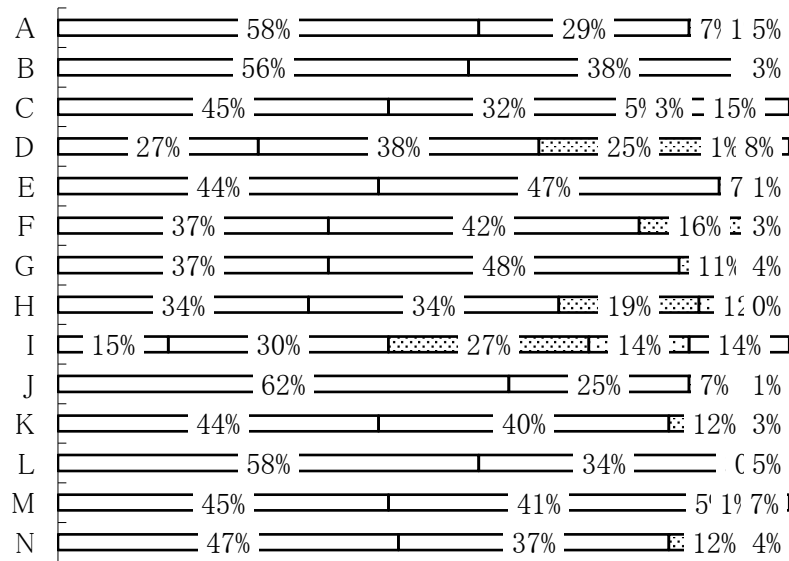


平成 29 年度のアンケート結果



平成 30 年度のアンケート結果



【思う】 【やや思う】
【あまり思わない】 【思わない】
【わからない】

質問項目

A	学習指導が行き届いている。
B	生徒(生活)指導が行き届いている。
C	進路指導が熱心に行われている。
D	クラブ活動が活発である。
E	学校行事が盛んである。
F	子どもはよく挨拶をする。
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。
H	子どもは学習習慣が身についている。
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。
J	子どもは楽しく学校に登校している。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。
M	学校のホームページは充実している。
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。

30 年度 - 29 年度 = 前年度比較

A	87	90	-3
B	94	90	+4
C	77	87	-10
D	65	68	-3
E	91	93	-2
F	79	74	+5
G	85	86	-1
H	68	66	+2
I	45	40	+5
J	87	91	-4
K	84	86	-2
L	92	92	0
M	86	86	0
N	84	94	-10
平均	80	82	-2

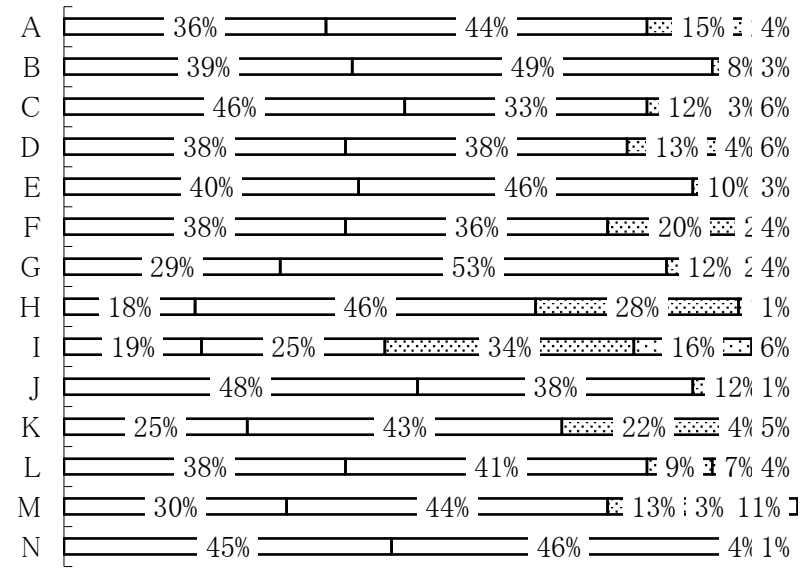
各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)

評価分析

昨年度と比較すると肯定的評価は、平均で 2%ばかり下降はしたものの、80%と依然高い評価を保っている。生徒アンケート結果と比較すると、B「生徒指導」94%、J「学校楽しい」87%、L「教職員の対応」92%、の項目において、それぞれ 16%、7%、7%も保護者の評価の方が高かった。これは生徒の目線を度外視した保護者の学校への信頼度だと考えられる。

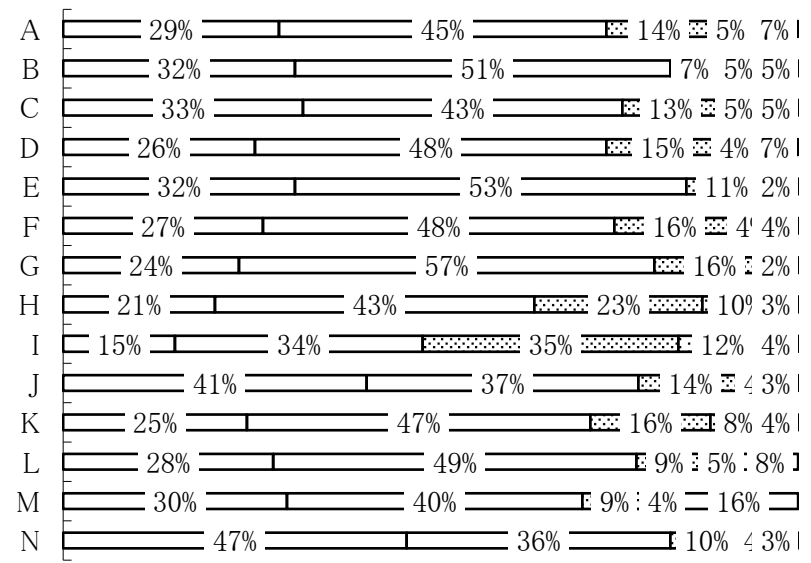
一方、D「クラブ活動」と G「マナー・ルール」の項目において、それぞれ 26%、8%と保護者評価の方が著しく低い。これは子弟への厳しいまなざしの一端とも見て取れる。また M「ホームページ」86%から保護者の学校への関心の高さをうかがい知ることができる。C「進路指導」77%が生徒評価よりも低い理由は、学校でどんな指導が行われているかわかりにくいからだと考えられる。

平成 29 年度のアンケート結果



質問項目	
A	学習指導が行き届いている。
B	生徒(生活)指導が行き届いている。
C	進路指導が熱心に行われている。
D	クラブ活動が活発である。
E	学校行事が盛んである。
F	子どもはよく挨拶をする。
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。
H	子どもは学習習慣が身についている。
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。
J	子どもは楽しく学校に登校している。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。
M	学校のホームページは充実している。
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。

平成 30 年度のアンケート結果



- 【思う】
- 【やや思う】
- 【あまり思わない】
- 【思わない】
- 【わからない】

30 年度 - 29 年度 = 前年度比較

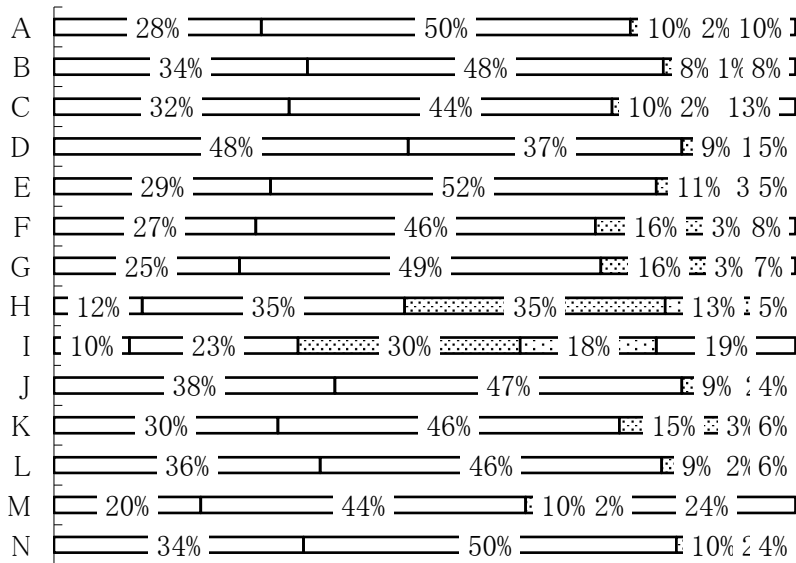
A	74	80	-6
B	83	88	-5
C	76	79	-3
D	74	76	-2
E	85	86	-1
F	75	74	+1
G	81	82	-1
H	64	64	0
I	49	44	+5
J	78	86	-8
K	72	68	+4
L	77	79	-2
M	70	74	-4
N	83	91	-8
平均	74	77	-3

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)

評価分析

まず、特筆すべきは、付中の保護者アンケートと生徒アンケートにはその好意的評価の平均値において大した差はないのに、六年制では、昨年度 16%、今年度は 13%もの差が出ていることだ。因みに中高別の保護者アンケートでは、昨年度 5%、今年度は 6%の差異が生じている。保護者の評価よりも生徒の評価の方が厳しい。項目別にみると、やはり A「分かる授業」、B「生徒指導」、C「進路指導」、そして J「学校楽しい」の項目にマイナスが目立つことである。特に J は、生徒評価でも 18%も下降している。付中とも連携しながら、担任、学年団、六年制普通科の関係者が情報の共有と連携を強化して早急に対策を講じたい。

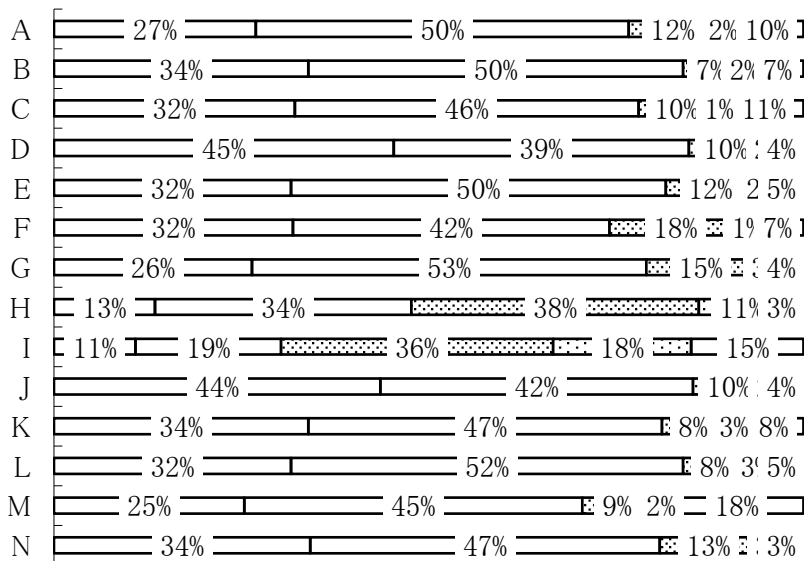
平成 29 年度のアンケート結果



質問項目

A	学習指導が行き届いている。
B	生徒(生活)指導が行き届いている。
C	進路指導が熱心に行われている。
D	クラブ活動が活発である。
E	学校行事が盛んである。
F	子どもはよく挨拶をする。
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。
H	子どもは学習習慣が身についている。
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。
J	子どもは楽しく学校に登校している。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。
M	学校のホームページは充実している。
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。

平成 30 年度のアンケート結果



30 年度－29 年度＝前年度比較

A	77	78	-1
B	84	82	+2
C	78	76	+2
D	84	85	-1
E	82	81	+1
F	74	73	+1
G	81	74	+7
H	47	47	0
I	30	33	-3
J	86	85	+1
K	81	76	+5
L	84	82	+2
M	70	64	+6
N	81	84	-3
平均	74	73	+1

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%)

- 【思う】
- 【やや思う】
- 【あまり思わない】
- 【思わない】
- 【わからない】

評価分析

生徒アンケートほどではないが、保護者アンケートの肯定的評価も上昇した。中でも B「生徒指導」、D「クラブ活動」、J「学校楽しい」、L「先生方の対応」はいずれも 85%前後をキープし、学校に対する信頼感の高まりが伺える。また、G「マナー・ルール」については、7%上昇し、生徒アンケート同様 80%以上の高い評価となったことは、生徒指導がうまく機能していると考えられる。

一方、A「よくわかる授業」と H「学習習慣」は、生徒同様に評価が低い。学習指導要領の改定も視野に入れながら、多様な生徒を受け入れている本校にあっては、わかる授業の追求には一層の研修と努力を重ねていきたい。